令和7年台風第22号による被災状況(道路)

- 主な幹線道路(高速、有料、直轄)の被災通行止めなし、雨量規制等通行止めなし
- 都道2区間で被災通行止め。
- ライフライン(電力・通信・上下水道・鉄道)について、連絡調整を行っており、現時点で、道路への要請無し (ホットラインの構築済み、災害時の連携を確認済み。)

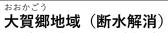


令和7年台風第22、23号による水道施設の被害状況等について

・洞輪沢浄水場からの送水により地

域内一部で水の供給を開始。

- 国十交诵省
 - 令和7年10月23日 15:00時点
- ○東京都八丈町(八丈町水道事業)において、約1,040戸断水中(坂下地区については、大賀郷地域は断水解消済み、三根地域は漏水している 配水管の修繕を行い、順次、給水エリアを拡大中。坂上地区については、19日に洞輪沢浄水場が復旧し、順次給水エリア拡大中)。
- ○臨時の給水場所を開設し、よりきめ細やかな応急給水のため、仮設給水槽を14箇所に設置。給水車7台(八丈町3台、東京都水道局3台、 自衛隊1台)を用いて、応急給水活動中。住民は持参したポリタンク等に給水。海上保安庁は、11日から巡視船により給水車等への給水を 実施(荒天時を除く)。
- ○東京都は職員30名(水道局・保健医療局)を派遣中。水源へのアクセスルートを含め被害状況の詳細把握と、復旧方法を検討中。
- ○国土交通省としては、八丈町から町道や水道水源等の被災状況調査の依頼を受け、14日防災へリに八丈町長等も搭乗し調査実施、 16日より地整TEC-FORCEが東京都水道局とドローンによる水源等の調査実施。18日関東地整水道担当職員2名を派遣。



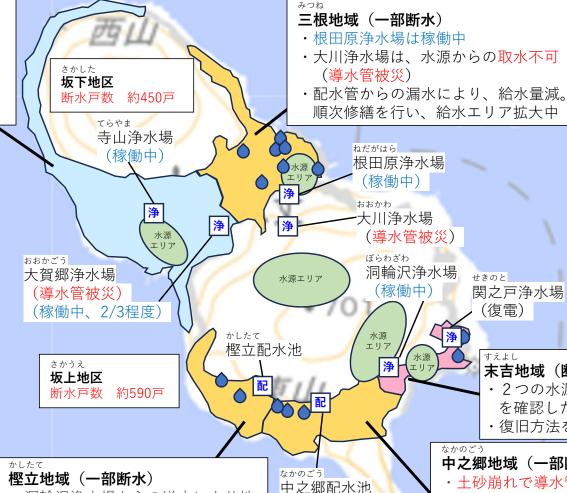
- 寺山浄水場は稼働中
- 大賀郷浄水場は、予備水源で の取水により稼働中であるが、 導水管被災等のため、取水量 は通常の2/3程度

大賀郷浄水場の水源への経路の状況

関之戸浄水場・水源のドローン調査



< 凡例 > 断水発生中の区域 断水一部解消済の区域 断水解消済の区域 応急給水実施中



(導水管被災)



巡視船による給水車への給水



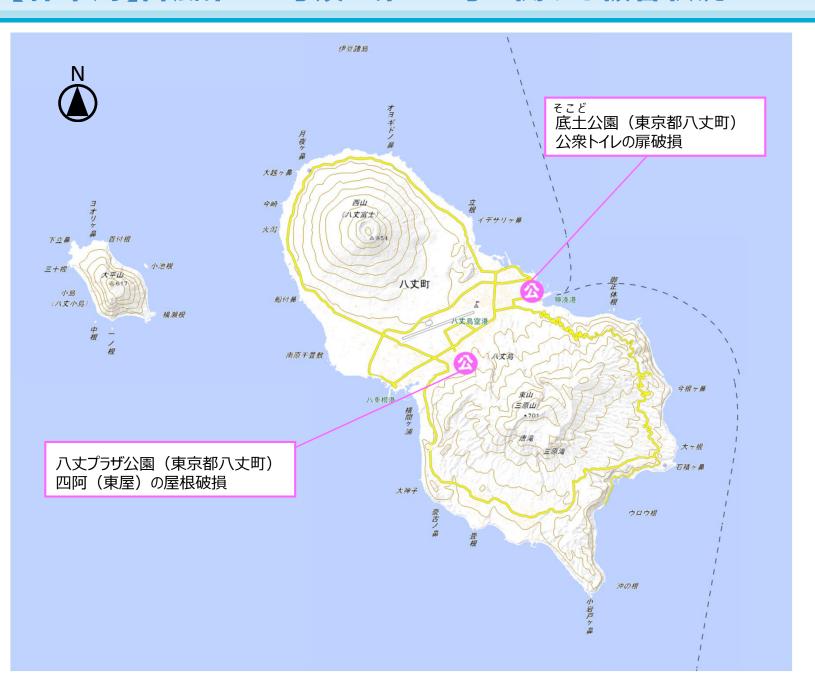
末吉地域 (断水)

- ・2つの水源のうち、1つから浄水場まで導水 を確認したが、十分な水量を確保できない。
- ・復旧方法を検討中。

中之郷地域(一部断水)

- ・土砂崩れで導水管被災のため断水。導水管復旧 に向けて整地作業中。
- ・洞輪沢浄水場から送水中。
- ・地域内一部で水の供給を開始。給水エリア拡大中。

【都市局】台風第22号及び第23号に関する被害状況



被災箇所数

国営公園: -件都市公園: 2件

※いずれも人的被害無し

【凡例】

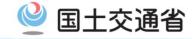


国営公園



都市公園

令和7年台風第22号・第23号おけるTEC-FORCEの活動



※令和7年10月23日 16:00時点

・TEC-FORCE派遣人数 のべ258人・日

- 〇ホットラインを7自治体(1町6村)と構築し、リエゾンを2自治体(1都庁1町)に派遣し自治体のニーズを把握。
- ○被害の迅速な全容把握のため、防災ヘリコプター(あおぞら号(関東地整)10/10、14、18)、TEC-FORCE(被災状況調査班【道路6班 ドローン2班】)の派遣により、被災した水道の水源地も含めた被災状況調査を実施し、復旧を支援。
- ○東京都八丈支庁に、衛星インターネット装置を設置し通信環境を確保。
- ○土砂災害専門家(TEC-FORCE高度技術指導班)による土砂崩落箇所等の調査を実施し、土砂災害の状況について助言を実施。

■自治体のニーズを把握(リエゾン)



自治体職員との情報共有(東京都八丈町)

■被災状況調査







被災状況調査(ドローン)(東京都八丈町)

■土砂災害専門家(国総研)



土砂災害専門家による調査結果の説明(東京都八丈町)

■通信環境確保



衛星インターネット装置(東京都八丈町)

■被災状況調査(防災ヘリ)

